

IIIIII2025 年度 総会報告 IIIIII

去る 2025 年 3 月 28 日(金), オンライン開催において 2025 年度総会が開催された。以下に議事を報告いたします。

- 1. 会長挨拶
- 2. 選挙結果報告

役員選挙結果

<得票総数 70件> 有効票 68件、白票 2件

候補者氏名 (五十音順)	所 属	得 票
齊藤 允教	日本大学	67
佐藤 巨光	有人宇宙システム株式会社	68
田川 俊夫	東京都立大学	68
山本 信	(株) IHI検査計測	68
渡邊 匡人	学習院大学	70

<新役員名簿>

会 長	渡邊 匡人	学習院大学★
副会長／庶務／広報 (HP・SNS・他)	桜井 誠人	宇宙航空研究開発機構
編集委員長／JASMAC 実行副委員長	渡邊 匡人	学習院大学★
会 計	橋本 望	北海道大学
理 事	宇宙惑星居住科学連合連携	
	桜井 誠人	宇宙航空研究開発機構
理 事	学会顕彰	
	水口 尚	琉球大学
理 事	学術会議対応 (若手の会)	
	JASMAC 学生表彰／広報 (HP・SNS・他)	
	白鳥 英	東京都市大学
	齊藤 允教	日本大学★
理 事	企画・戦略 (Scopus 対象誌化推進)	
	田川 俊夫	東京都立大学★
理 事	JASMAC-34 開催	
	山中 淳平	名古屋市立大学
理 事	JASMAC-35 開催	
	水口 尚	琉球大学
理 事	JASMAC-36 開催	
	後藤 琢也	同志社大学
理 事	広報 (HP・SNS・他)	
	鈴木 進補	早稲田大学
理 事	ニュースペースとの連携	
	豊島 悠輝	Space BD(株)
理 事	ペイロード・地上実験	
	山本 信 (株) IHI 検査計測★	
監 事	佐藤 巨光	有人宇宙システム(株) ★

無印・・・2024 年 4 月～2026 年 3 月
★印・・・2025 年 4 月～2027 年 3 月

<賛助会員企業一覧>

【3 口会員】 1 社 (株)IHI エアロスペース富岡事業所
【1 口会員】 2 社 ダイヤモンドエアサービス(株)
(一財)日本宇宙フォーラム

<2024 年度会員異動報告>

入会：	正会員	3 名	
	学生会員	18 名	計 20 名
退会：	正会員	2 名	
	学生会員	15 名	計 17 名
除名	正会員	0 名	
	学生会員	0 名	計 0 名

<2025 年 3 月 20 日現在会員数>

正会員 108 名
学生会員 39 名
永年会員* 21 名
顧問 3 名
賛助会員 3 件 (5 口) 計 168 名, 3 件

- 3. 役員の選任
- 4. 新役員挨拶

■2024 年度活動報告■

活動について各担当理事より事業報告があった。

【事業報告】

1 月 20 日 編集委員会事前打合せ
1 月 24 日 第 134 回編集委員会
2 月 22 日 総会打合せ
3 月 29 日 2024 年度理事会・総会
4 月 5 日 JASMAC-36 打ち合わせ
4 月 18 日 第 135 回編集委員会
4 月 24 日 JASMAC-36 実行委員会
7 月 10 日 JASMAC-36 実行委員会
7 月 16 日 編集委員会事前打合せ
7 月 18 日 第 136 回編集委員会
8 月 26 日 幹事会
8 月 7-8 日 若手夏の学校 2024
(JAXA 筑波宇宙センター)
9 月 3 日 AMS 打合せ
9 月 10-12 日 JASMAC-36 開催
9 月 11 日 2024 年秋季理事会・総会
10 月 15 日 編集委員会事前打合せ
10 月 17 日 第 137 回編集委員会
11 月 3 日 若手の会活動 (山口大学大学祭)
11 月 29 日 AMS 淡路島視察
12 月 25 日 幹事会

【協賛報告】2024 年 1 月 1 日－12 月 31 日

- 承諾日 会議名/主催団体/会期
- 4/4 「第 21 回流動ダイナミクスに関する国際会議 (ICFD2024)」《ハイブリット開催》ICFD 東北大学 流体科学研究所 2024.11.18-20
- 6/18 「2024 年生態工学会年次大会」愛媛大学農学部 2024.6.29-30
- 6/28 「第 45 回日本熱物性シンポジウム」アオーレ長岡 2024.10.28-30
- 7/4 「第 51 回結晶成長国内会議 (JCCG-51)」日本結晶成長学会工学院大学新宿キャンパス 2024.11.18-20
- 9/4 「第 62 回燃焼シンポジウム」日本燃焼学会 大阪国際会議場 2024.11.25-27
- 12/13 「第 22 回 HASTIC 学術技術講演会」《オンライン開催》2025.3.

【若手の会活動報告】

微小重力科学 若手夏の学校 2024

日程: 8/7-8/8

- ・場所: JAXA 筑波宇宙センター
- ・内容: 講師によるレクチャー, 研究発表, 懇親会
- ・参加者数: 41 名

微小重力科学の研究成果の発信

日程: 11/3

- ・場所: 山口大学の学祭(姫山祭)
- ・内容: ポスター展示(JASMAC 等で発表済みのもの), 学会の活動内容のパンフレット製作・配布

オンライン交流会・幹事会

- ・回数: 年に 10 回
- ・場所: オンライン
- ・内容: イベントの企画・準備, 研究室紹介等
- ・参加者: 各大学・機関の代表者 12 名

【編集委員会事業報告】

Vol.41-1 (2024.1)

・ Analysis Method for Recalescence Time Obtained Using High-Speed Camera for Solidification Experiments at the Electrostatic Levitation Furnace in the International Space Station/ Yuji MABUCHI, et.al.

・ Surface Tension of Liquid Zirconium Considering Effect of Oxygen Dissolution from Measurement Atmosphere/ Yusaku SEIMIYA, et al.

Vol.41-2 (2024.4)

・ Heating Conditions in Electrostatic Levitation Experiments for Grain Refinement of Ti-6Al-4V with TiC/ Yuji MABUCHI, et al.

Vol.41-3 (2024.7)

・ Measurement of Impurity Diffusion Coefficient of Sn in

liquid Al/ Arisa YAMANAKA, et al.

・ Bacterial Cellulose Production in Space/ Akiko TANAKA.

・ Microgravity Environment and Thermal Conductivity Measurement of Fluid Samples/ Hideaki NAGAI.

Vol.41-4 (2024.10)

・ A Small Device for Two-step Enzymatic Reactions in Space/ Sachiko TAKAHASHI, et al.

・ Surface Temperature of Dust Particles in Plasmas Used for Microgravity Experiments/ Kazuo TAKAHASHI.

●Vol.1-No.1 から現在まで全ての論文を J-stage 公開済み

【編集委員会事業】

論文賞の推薦:

編集委員会では, 過去 5 年間に発行された論文から推薦を行っている. 今年度は, JASMA 論文賞の候補として 3 論文を推薦した.

インパクトファクターの取得について:

2023 年 7 月 取得した. 取得に至るまでの経緯の説明とご協力いただいた会員皆様へ感謝の言葉が編集委員長からあった.

編集方針:

今後国際論文誌としての立場を確立する目的で, 各号に幾つかの分野の論文を掲載する編集方針に変更し, 編集委員を増加し分野の拡大をした. 全編集委員の協力のもと, 論文数増加を継続している.順調に論文数を確保できる体制が整ってきた.

【表彰関係事業】

JASMAC-36 にて表彰

1) 2024 年度 学会賞: 大田 治彦

2) 2024 年度 論文賞:

“Long-term Behaviors of a Single Particle Forming a Coherent Structure in Thermocapillarydriven Convection in Half-zone Liquid Bridge of High Prandtl-number Fluid” K. YAMAGUCHI, T. HORI and I. UENO Int. J. Microgravity Sci. Appl. 2019 p360203

3) 2024 年度 若手奨励賞:

清宮 優作 (千葉工業大学附属研究所)

郵送にて JASMAC-35 学生口頭発表表彰

JASMAC-36 学生口頭発表最優秀賞受賞者:

・谷本 滉平 (東京都市大学)「液滴浮遊法における内部対流が結晶粒成長に及ぼす影響」

・原田 真作 (山口大学)「微小重力場における冷炎を考慮した液滴間の燃え広がりに関する研究」

【広報事業報告】

・JASMA 広報事業の進め方を担当理事で協議した。

・「JASMA」とは何か、に答えられるパンフレットを若手の会で作成した。

- ・JASMA でも積極的に活用することを依頼した。
- ・2025 年 1 月にゆうこ博士と打ち合わせを行い、過去の宇宙実験の動画などを見ていただき、学会参加の増員に関して意見交換した。ゆうこ博士は元 JAXA 職員でパラボリックフライトの経験もあり、宇宙教育関連のイベントを多数開催している。JASMAC 室蘭にてイベントを行う予定。

【会計報告】

<2024 年度決算>

2024 年度決算、橋本望理事（会計担当）および渡邊監事による監査結果について報告され、質疑応答の後承認された。

<2025 年度予算>

2025 年度予算案が、橋本望理事（会計担当）より示され、質疑応答の後承認された。

■2024 年度事業活動計画■

活動計画について各担当理事より報告があった。

【JASMA 活性化事業】

- ・若手の会の活動支援を強化、若手の会活動計画
- ・財政上、去年度に引き続き分科会は一旦中止
- ・宇宙惑星居住科学連合との連携強化
- ・高校生へのアウトリーチ活動

【表彰関係事業】

2025 年度日本マイクログラビティ応用学会学会賞公募

2025 年度日本マイクログラビティ応用学会論文賞公募

2025 年度日本マイクログラビティ応用学会研究奨励賞公募

2025 年度日本マイクログラビティ応用学会若手奨励賞公募

- ・4 月に公募、締め切りは 5 月 31 日

JASMAC-37 学生口頭発表賞選考

【編集委員会事業計画】

1) e-journal 「IJMSA」 Vol.42 No.1～4（2025）の発行（Web）

Vol.42-1 1 月末（発行済み）

Vol.42-2 4 月末発行、1 月末入稿〆切

Vol.42-3 7 月末、4 月末入稿〆切

Vol.42-4 10 月末、7 月末入稿〆切

2) インパクトファクターの取得について：

引き続き引用件数増加をはかり、IF 継続を狙う Scopus へ再度申請を行う準備を進めている。

編集方針：

順調に論文数を確保できる体制が整ってきたので、さらに、特定の分野、研究プロジェクトで特集が組むことができれば随時組み込んでいく。全編集委員の協力のもと、論文数増加につき強化を継続していく。

【イベント事業】

JASMAC-37

日時：2025 年 9 月 11 日（木）～9 月 13 日（土）

場所：FK ホールディングス 生涯学習センター きらん

実行委員長：今井良二（室蘭工業大学）

【若手の会活動計画】

JASMA 広報

【広報事業】

JASMA 広報事業の進め方を担当理事で協議し、下記の方策を検討している。

JASMAC への民間企業の参画を強化する（企業展示や特別講演など）参考として日本航空宇宙学会年会在 2025 年 4 月 3 日（木）～4 日（金）@東京大学本郷キャンパス 工学部 2 号館、および、安田講堂にて開催される。中須賀先生のリードで、4/3（木）18:30 よりビジネスセッションなどもある。宇宙惑星居住科学連合との連携を強化する。

JASMA 主催によるセミナーの開催。New Space の交流の場を提供する。

学会として高校等への出張授業を受け付ける。

JASMA ホームページの更新の頻度を上げる。Twitter、YouTube など SNS による配信を強化する。

